

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ2nd		公表日		令和8年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋ごとに活動を分けている点が工夫されていると思います。	不要物の処分をして使える部屋をふやしたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用児の特性を考え組み合わせた支援を提供してチームとして時間の使い方を各スタッフが考えられています。	今後も状況に応じて配置等を変更しながら取り組んでいく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じてアップデートしています。制作の部屋、動いて活動する部屋が分かれています。	まだまだ物が多かったり、通路が滑りやすいなど改善点はまだあるため、改善できるようにしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に構造化を行い、環境を整えようとする姿勢があります。1日の最後には道具を元の位置に戻しています。	物が多いので、更に環境整備を進めていきたいと思っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの特性に配慮した部屋割りを行っています。	特性に応じた対応はできているが、再構造化は今後も継続していきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		終礼の際に話をしています。	話し合いはよく出来ているが、やりっぱなしのものもまだあるため、見直しを随時進めていきたいと思っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見をスピード感をもって対応するよう心がけています。	今後もスピード感をもって、どのスタッフでも対応できる統一したサービスの提供を進めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		みんながそれぞれ意見を言う場があります。	1on1ミーティングをもっと充実させていきたいと思っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	見学受け入れ等を行っています。	外部からの評価は少ないので、センター等の連携を活用していきたいと思っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修が充実しています。	今後もスタッフ研修を充実させ、質の向上に努めていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフ全員でも話し合っています。	新人スタッフでも話し合いに参加しやすい環境作りを進めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		ニーズを捉え、迅速に対応する姿があります。	今後も保護者との連携を密にとりながら進めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケア会議で職員が意見を出し合っています。	登録人数増加に伴う、1人当たりのケア会議時間の獲得が難しくなっているため、時間の活用方法を検討していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書に沿った支援をしています。	今後も計画書を基に、目標を立ててそれに向けて支援を進めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		意識的にアセスメントを行っています。定期的に検査を実施しています。	日々のアセスメント習慣はついているが、分析シートの活用等が少ないため、活用をしていきます。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		目標達成するために具体的に設定しています。 保護者や関係機関との連携を進んでいます。	地域支援がやや希薄になることが多く、評価シートでの情報提供に頼っている部分が多いため、今後ITツール等も活用しながら情報共有に努めていきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで話し合いが多いと思います。	大型イベント等になるとやや担当リーダーへの負担が大きくなりがちなので、チーム組織の強化を図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ狙いで活動内容を変えて設定している支援に入る人、支援のスケジュールなどを変えています。	今後も固定化しないよう都度話し合いを進めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの特性に合わせて柔軟に対応しています。個別、集団それぞれの目標設定があります。	今後も家庭と連携し必要な支援の提供ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		視覚化し分かりやすく工夫もされています。朝礼で大事なことを伝えています。	今後も細かく分担し、チームで連携して動いていけるよう継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼で報告するなど、毎日行う事ができています。	今後もチーム力を維持・向上に努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の内容を統一し、共有を図るようにしています。	今後も支援の改善等に記録を用いていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援の方針が変わると見直ししています。	半年見直しが多く必要に応じてがやや少ない状況に応じた変更等を積極的に行って行きたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議前にはこれまでのサービス記録や議事録を確認しています。情報共有を事業所内でもこまめに行っています。	管理職が参加する事が多い。入職年数に関わらず、状況に応じて参加できるよう進めていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡を取り合っています。	医療機関との連携が少ないので、今後の課題として考えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行を見据えた支援の提供や共有を図るための書類を定期的に作成し渡しています。	行動面で課題が多いお子さんはしているが、その他は取っていないことが多いため、検討していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを渡すなどの情報共有をしています。面談を設けています。	今後も情報共有・提供等行っていきたいと思っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		研修案内は定期的にいただいています。	研修参加はできていないので、積極的にセンターと連携を図ってきたいと思っています。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	併用利用しているお子さんは機会を確保できています。	事業所としても関りはないため、今後法人として検討していきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	母子通園等を通し、顔を合わせて話ができるようになっています。支援後フィードバックをしています。	今後も定期的に事業所内相談を実施していく保護者が相談しやすい環境作りを今後も努めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアトレを定期的に開催しています。	仕事を抱えている親御さんには参加しにくい時間帯なので、今後開催日時の検討をしていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	いつでも手に取れるように待合に配置しており、見学の際や契約の際にも説明をおこなっています。変更がある場合は必ず同意書をいただいております、わかりやすく噛み砕いて説明しています。	初回に説明する事が多く、忘れてしまわれる方もいるので、いつでも手にとれる棚に掲示しているが、周知できていない方が多いため、検討していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	家族や本人の意向をしっかり聞いています。	今後も意向をしっかり把握したうえで、最善の支援の提供を行っていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	優先順位が高い物は特に丁寧に説明しています。毎回対面で行っています。	半年に1回なので、保護者様も忘れてしまいがちなので、都度事業所内相談での聞き取りを徹底していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	事業所内相談や毎回のフィードバック時に実施しています。	行事等がほとんどないため、年間計画がないので、必要に応じて検討していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	必要に応じて保護者同士が話せる機会を設けています。ペアレントトレーニングの機会などを活用しています。	兄弟児の交流が全くないため、今後法人全体で検討していきたいと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	急な相談にもなるべく早めに対応しています。いつでも相談ができる体制作りを行っています。	苦情の件数が少ないため、拾えていないご意見もあるかもしれません。もっと言いやすい環境や取り組みを検討していきたいと思っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	sns等を活用し発信しています。LINEの活用	今後も取り組んでいきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	書類は鍵のついた棚に保管しています。	今後取り扱いには留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	家庭状況に合わせた情報伝達を行っています。PECSやIT機器等を導入しています。聴覚障害のある方にはマスクを取って話を行っています。	今後必要に応じて対応を進めていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	無料講演会や体験会等を開催しています。	近隣住民の方と一緒に避難訓練等も今後検討していきたいと思っております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	定期的に訓練をしています。	周知ができていないのか、手にとってみられる方が少ない。周知の徹底をしていきたいと思っております。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	地震や火事、引き渡しの練習をしています。	地震・火災の訓練は出来ているが、水害や原発訓練が実施できていないので、訓練内容の見直しを含め検討していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	気をつけることを書いてもらう用紙があります。	服薬・てんかん等の確認は行っているが、予防接種は積極的に確認していないので、今後していきたいです。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者にアンケートでの聞き取りを行っています。	医師とのやり取りが今までないので、今後必要に応じ適宜対応していきたいと思っております。

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		危険な箇所を予測し貼っております。	今後も継続して行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		リスクマップを掲示しております。	周知を行っているが、途中利用開始の方で分からない方もいらっしゃるため、掲示期間の見直しを行いました。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		Googleフォーム等を活用し、全スタッフで共有できるようにしている。またリスクマップ等の作成を行い、統一認識をはかっている研修を実施しています。	インシデント・アクシデント報告は多いが、ヒヤリハット報告が少ないため、今後研修を実施予定です。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回研修があります。	今後も早期発見につなげられるよう、取り組んでいます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を中心に年に2回研修が来ています。	今後も委員会や保護者協力の下、適切な支援をすすめていけるよう取り組んでいきます。